

授業科目	ソーシャルワークの理論と方法(専門)B				単位	2		
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE21306J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-2			
担当教員	笠 修彰							
授業概要	本講義では、精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について、具体的事例を取り上げながら解説する。また、精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織における運営管理や介入、活動展開に関する概念と方法について学ぶとともに、ソーシャルワークの実践展開をマイクロ・メゾ・マクロの連続性と重層性を踏まえ解説する。さらに、精神保健福祉分野以外での精神保健福祉士の実践展開についても解説する。							
学生が達成すべき行動目標	<p>①精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・他機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。</p> <p>②精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。</p> <p>③個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をマイクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解する。</p> <p>④精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	10	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	20		5				25	
知識・理解 (DP1-2)	35		5				40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)	15						15	
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)						10	10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
①精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・他機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解し、説明できる。 ②精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解し、説明できる。 ③個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をマイクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解し、説明できる。 ④精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解し、説明できる。				①精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・他機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解できる。 ②精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解できる。 ③個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をマイクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解できる。 ④精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解できる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション	講義	シラバスの事前通読	30分
2	多職種連携・多機関連携の意義と目的・連携に関わる概念整理	講義	講義範囲の事前通読	30分
3	多職種連携・多機関連携の留意点・当事者中心、当事者参加の原則・目標共有	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
4	チームビルディングとチームの形態・特徴	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
5	多職種連携・多機関連携における精神保健福祉士の役割の実際	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
6	組織と精神保健福祉士の関係性	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
7	組織介入・組織改善の実践モデル	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
8	組織運営管理の実際	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
9	精神保健福祉分野におけるコミュニティワークの意義	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
10	地域における精神保健福祉の向上	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
11	個別支援から地域における基本的視点	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
12	個別支援から地域における体制整備	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
13	政策提言・政策展開	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
14	精神障害者の地域移行・地域定着に関わる展開	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
15	関連分野における精神保健福祉士の実践展開、まとめ	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	受講にあたっては、3年前期までに履修できる精神保健福祉士指定科目を履修済みであることが望ましい。			
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの理論と方法〔精神専門〕』中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書、教材等については、授業のなかで紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業の理解をより深めるために、必ず事前に教科書を一読しておいてください。 日頃から新聞やニュースなどに親しむことを通して、精神保健医療福祉を取り巻く現状に実践的関心を持つよう努めてほしい。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験、レポート、その他(授業に臨む姿勢や態度、積極性、参加意欲)にて評価します。			

